

伊吹山シカ被害対策用防護柵の今後について2

2019年7月19日

高柳 敦

伊吹山の山頂の防護柵について、雪解け後に環境保全課と共に、全体のチェックとネットの引き上げおよび張り直しを実施してきている。しかし、ネットの破損がひどく、シカを排除できる状態にするのが困難であるため、まず、その柵の補修に全力をあげているところである。3月と状況が異なるので、改めて場所別に説明しておきたい。

1. 西歩道沿い北側（水色ライン）

西歩道沿い北側は、今年の春から引きちぎりによる侵入が多発するようになっており、それを止めるために、新補強ネット（全面ステンレス入りの5cm目ネット（幅150cm））をL字型に外側に結束バンドで取り付けてアンカーで押さえる。現時点では、穴を塞ぐとしばらく侵入が止まるので、補修時期は8月以降となる。

2. 西側から南側のユカエルを越えて次のゲートまで（緑色ライン）

部分的に引きちぎり等があり、新補強ネットを当てて補修する。作業は8月以降。

3. オオバギボウシ金属柵（青色実線ライン）

現在侵入は、上側の化繊ネットの不具合箇所（高さが低い）から起きているが、金属柵からの侵入はない。しかし、破損が見られるので、日亜鋼業と話し合い大幅な補強を行うことになった。補強作業は8月以降となる。

4 南側から東のワンウェイゲートまで（薄い橙色ライン）

破損がひどすぎて、補修では間に合わないので、下部をイザナス（旧ダイニーマ）という強化繊維で強化したネットに張り替える。すでに数スパン張り替えてあるが、残りが10スパン程度ある。7月から8月にかけて作業予定。

5. ワンウェイゲートから中央登山道入口まで（濃い橙色ライン）

ここも激しく痛んでいるので、下部ステンレス入りネットに張り替える。落雷の恐れが低いので、より強度の高いネットを用いる。50m ネットで9スパン分くらい必要で、そのうち2スパン程度を張り終えている。7月～8月にかけて作業予定。

※この箇所のネットの破損は、ネットの上部も大きく破損しており、これはシカによる破損とは考えにくい。おそらくネットを下ろしている間に何らかの破損（イノシシが引っかけた破るなど）があったと考えられる。これらの破損については張り替えたネットでも対応できない。

※※イノシシの侵入が頻繁に起きていそうな場所については、下部にワイヤーメッシュ、上部に取り外したネットで使えるネットを継ぎ足した柵の設置を試みる（今年は試験的な短い距離のみ）

6. 中央登山道入口から上まで（青色点線ライン）

この部分（紫色ライン）のネットの破損もひどく、両脇に足跡が多数ついている。おそらく頻繁にシカが来ていると思われ、見回りも難しいことから張り替える必要がある。ここは、斜面を登るように張れば、雪の影響が小さくて済むので、柵のラインを変えて、金属柵にして、上の金網柵まで結びつける。次年度以降の作業。

7. ユカエル

ロープが緩むなど問題があるが、まだ新日鐵住金とは那覇市ができていない。

8. 3合目

既に CAMS と話し合い、予算規模に合わせ構造も見直して、単年度で囲める範囲を金属柵に置き換えることにしている。予算が決まったら、CAMS と構造を決定する。

作業について

作業を業者に出す方が良かったとは思いますが、破損状況が一様でなく、見積もりを取って入札できるような作業でなかったため、業者に発注することができなかった。また、新規張り替えのネットが適切に設置されるように、環境保全課の職員に設置方法を指導し、その指導を活かして保全課の職員が地道に作業している。夏休みには学生などもバイトで導入して、できるだけ速やかに外周の補修作業を進めたい。

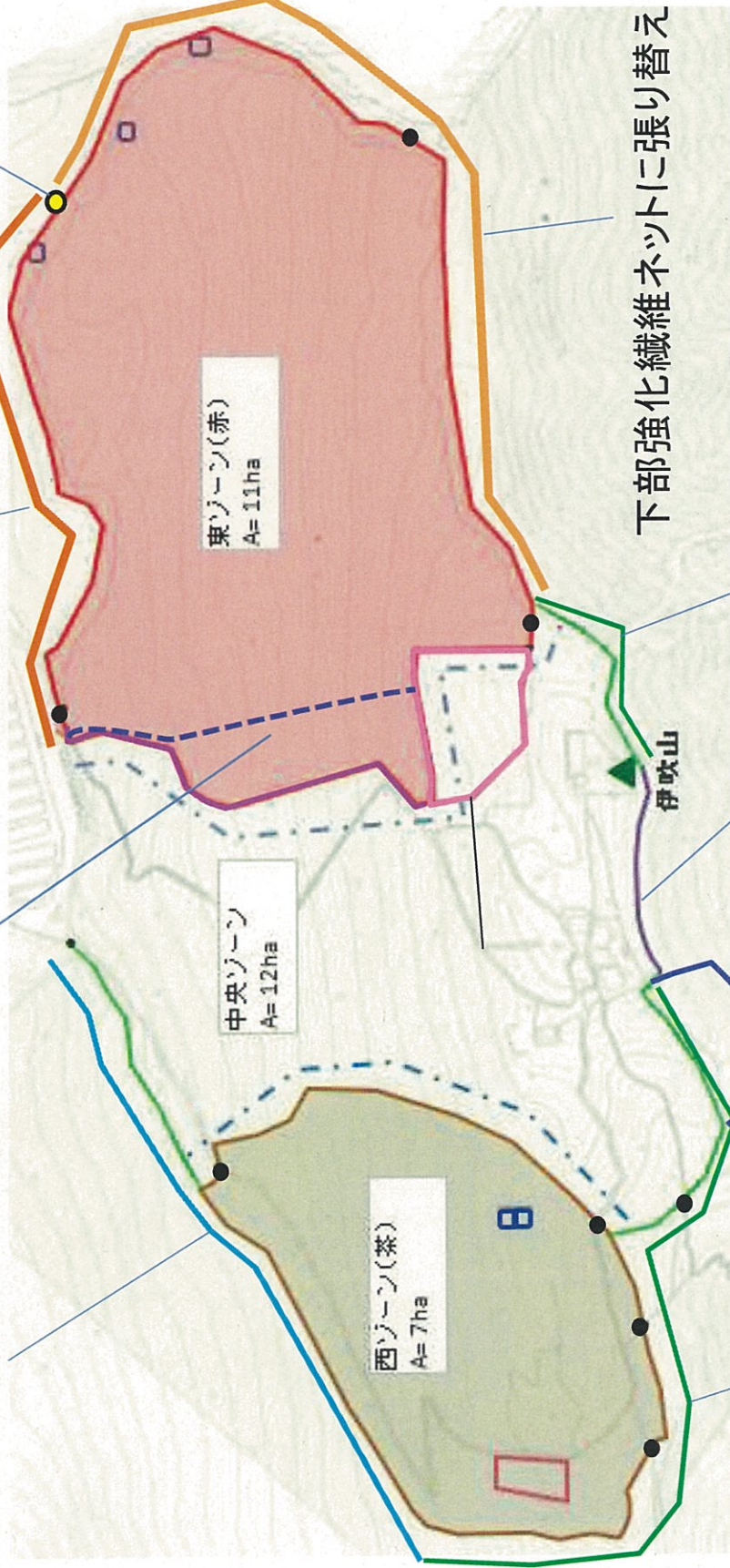
山頂防鹿柵の補修方針(20190719)

ワンウェイゲート

新提案：金属柵に変更(2020)

下部ステンレス補強ネットに張り替え

全面に下部補強ネット装着



部分補強

部分補強

補強方針ほぼ確定

補強方法未定



2019年 防護柵補強計画案



- オートクローザー式扉
- 2012年設置AF柵 全て撤去 (ネットは補強に使用)

要補修
 新日鐵住金建材に問合せ
 対応はおそらく7~8月

金属柵に交換 (年度内)

下を引きちぎる被害散発
 部分的に補強 (7月以降)